

An aerial photograph of Kawasaki City, Japan, showing a dense urban area, a large airport complex, and a river. In the far distance, the snow-capped peak of Mount Fuji is visible against a clear blue sky. The text is overlaid in the center of the image.

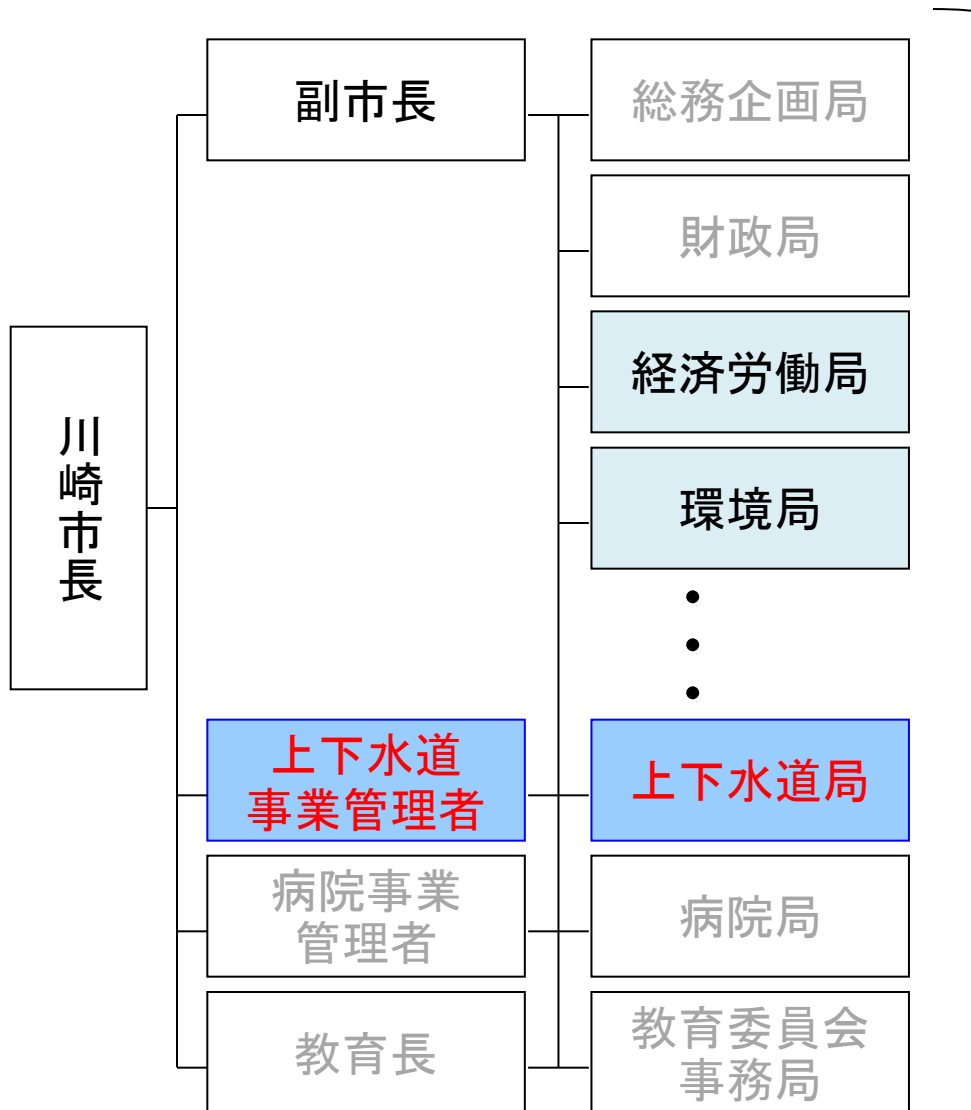
川崎市上下水道局の国際展開の取組

本日の内容

- 1 川崎市上下水道局の概要
- 2 上下水道分野における国際展開
 - ・官民連携による国際展開
 - ・技術協力による国際貢献

川崎市上下水道局の概要

◆川崎市組織機構図



17局



KAWASAKI CITY

- 上下水道局が水道事業，工業用水道事業と下水道事業を経営

川崎市上下水道局の概要

◆水道・工業用水道・下水道の一体運営

水道

給水開始：1921年
給水人口：1,495,999人
給水能力：758,200m³/日
浄水場数：1
配水管延長：2,404km



工業用水道

給水開始：1937年【日本初】
給水先：58社80工場
給水能力：520,000m³/日
浄水場数：2
配水管延長：44.095km



下水道

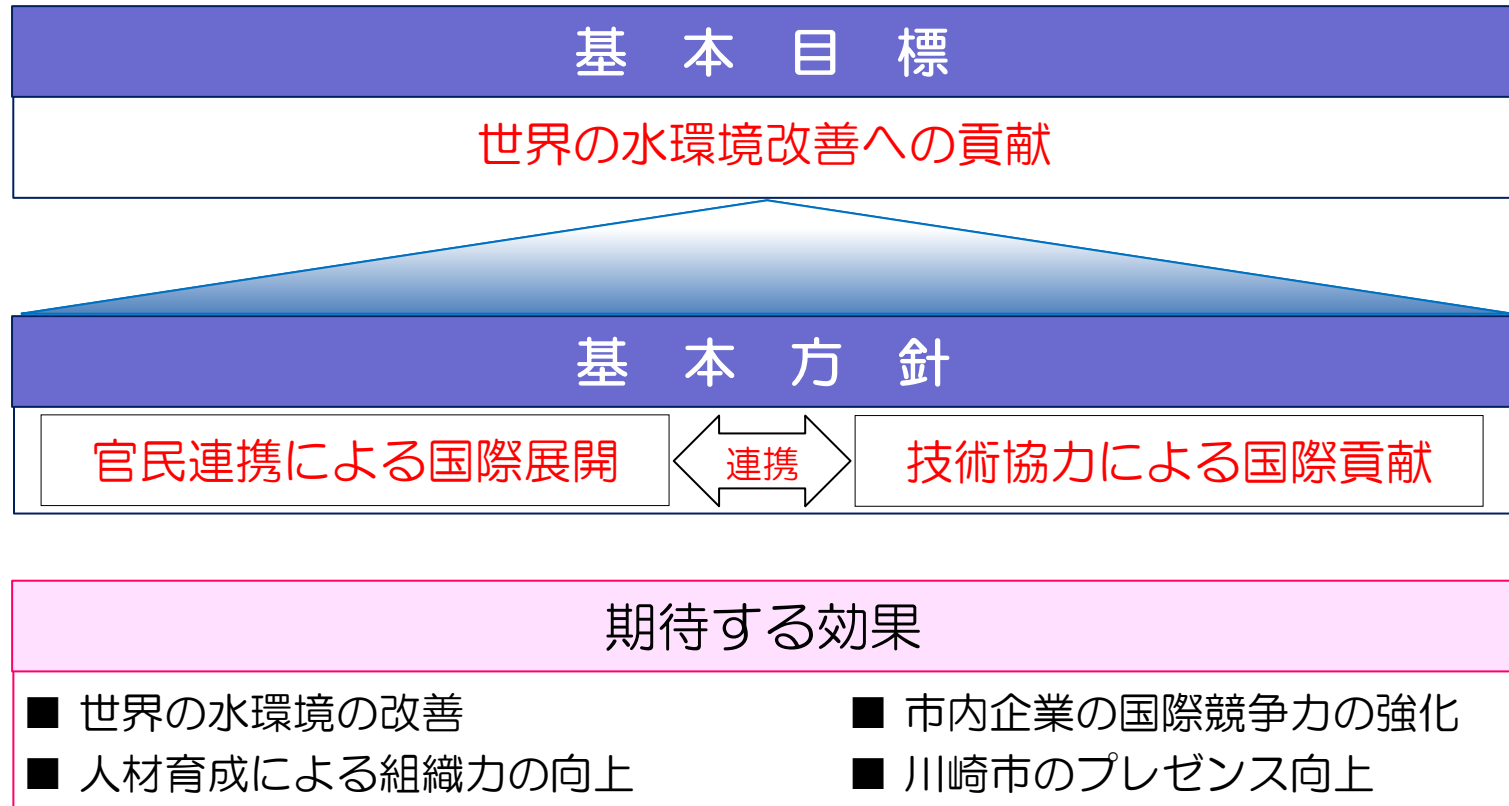
供用開始：1935年
処理人口：1,487,834人
処理能力：918,000m³/日
処理場数：4
管きょ延長：3,120km



2016年度
データ

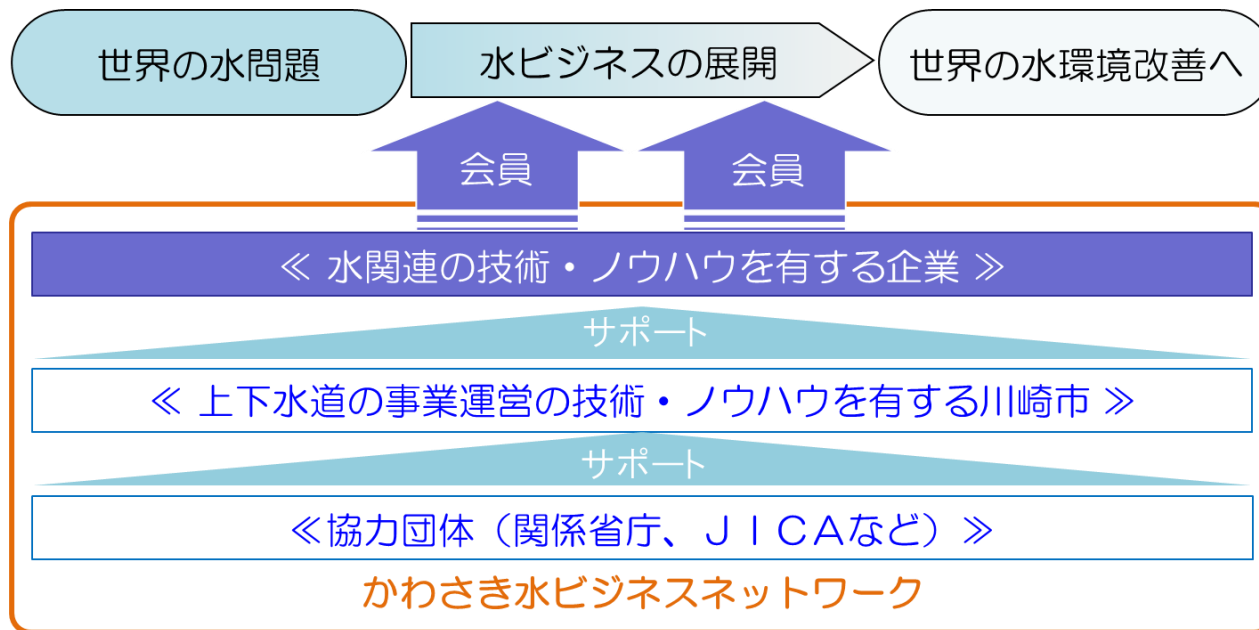
上下水道分野の国際展開

川崎市では、世界の水環境改善に貢献するため、「官民連携による国際展開」と「技術協力による国際貢献」の2つの方針に基づき、国際展開を推進しています。



◆かわさき水ビジネスネットワークの活動

世界の水環境改善に向けて、官民が連携して水ビジネスを推進するプラットフォームとして、「かわさき水ビジネスネットワーク」(KaWaBiz NET) を2012年8月に設立

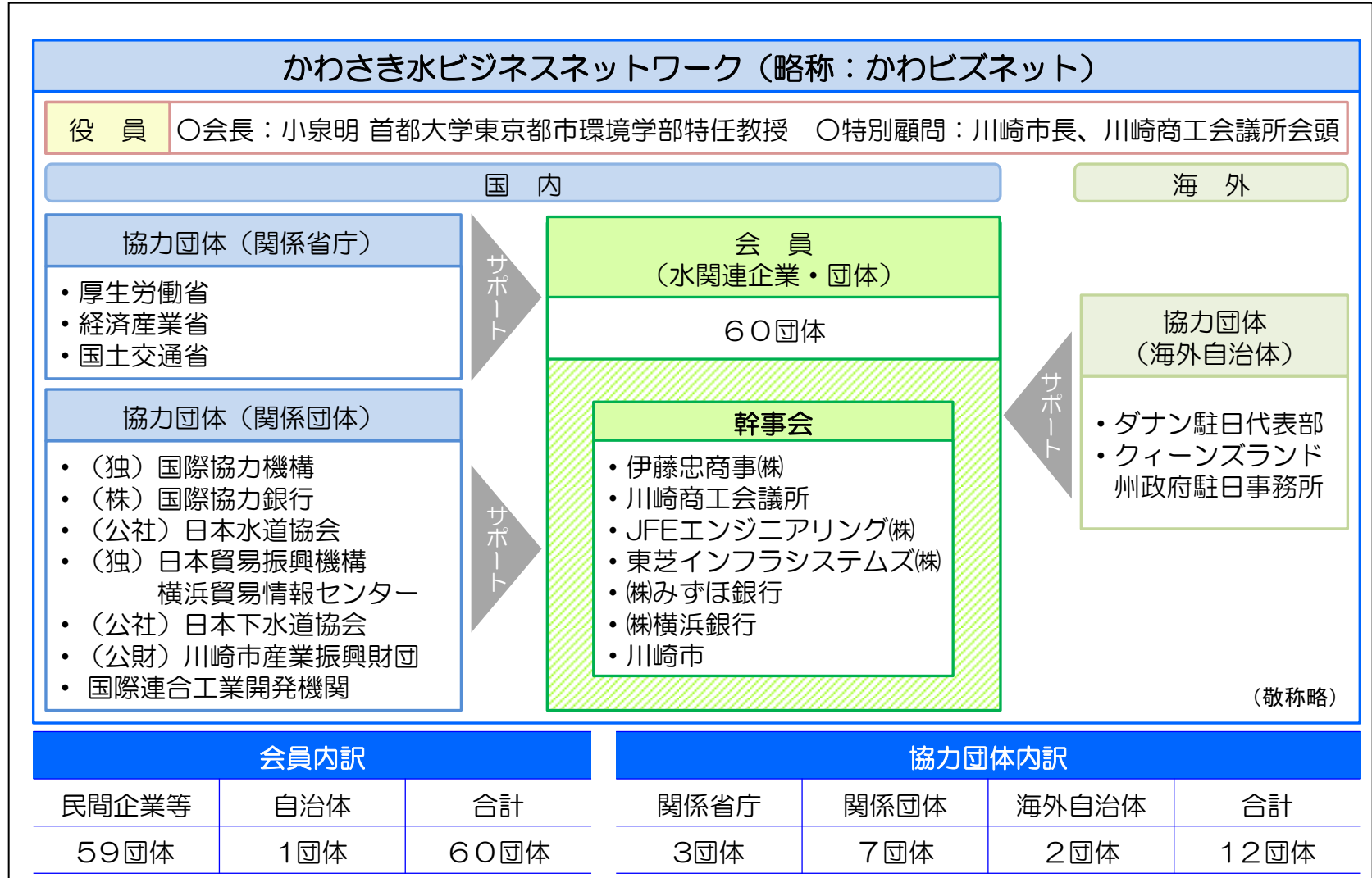


かわbizネット総会の様子

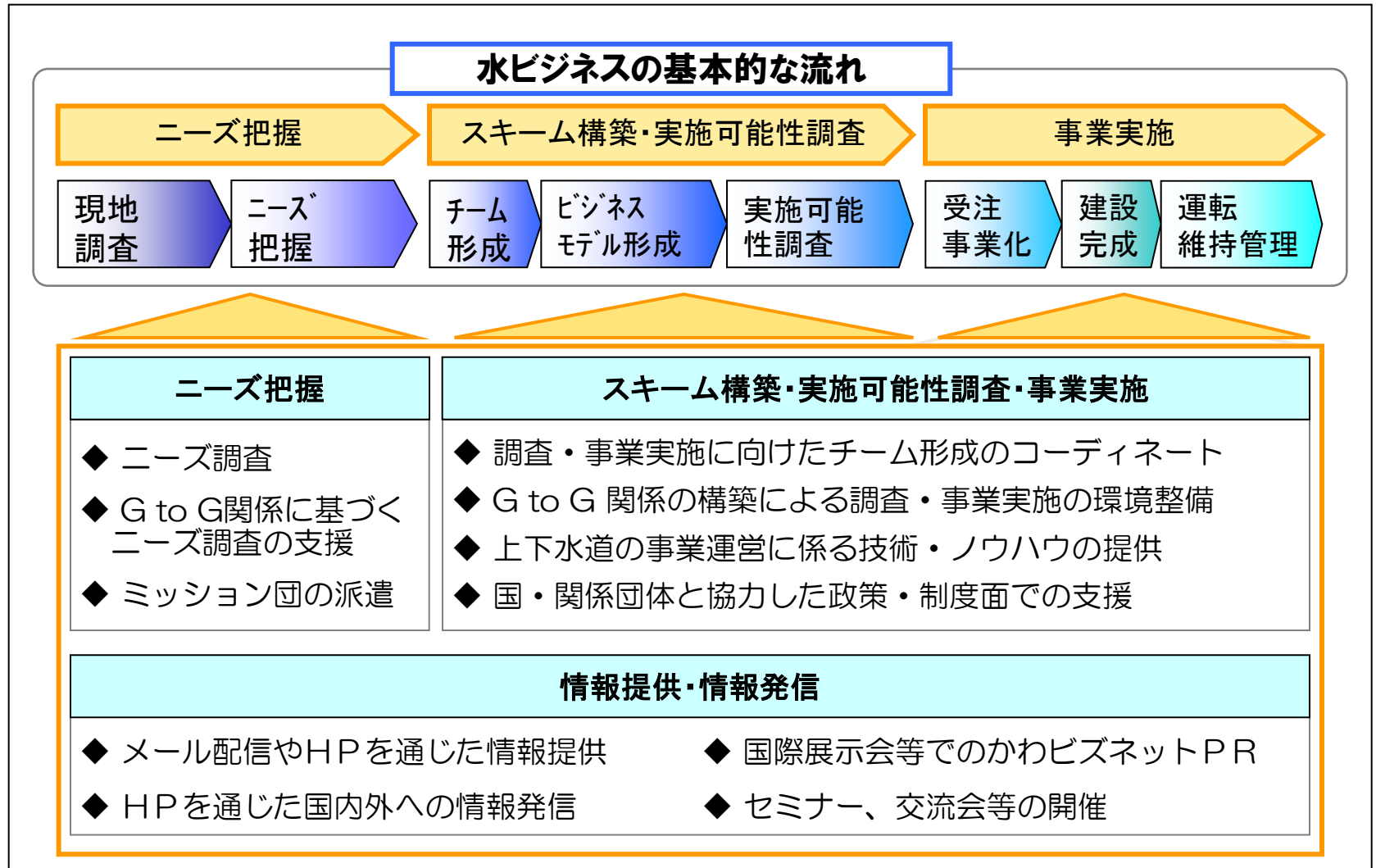
KaWaBiZ NET HPアドレス
<http://www.kawabiznet.com>

官民連携による国際展開

◆かわさき水ビジネスネットワークの組織構成



◆ かわさき水ビジネスネットワークの活動モデル



官民連携による国際展開

◆かわさき水ビジネスネットワークの具体的な活動例

(1) インドネシア・バンドン市に関する取組



バンドン市水道公社総裁、排水部長等を招聘し企業展開セミナーを開催(2017.3)



会員と川崎市による官民共同ニーズ調査を実施(2017.10)



官民連携による国際展開

◆かわさき水ビジネスネットワークの具体的な活動例

(2) ミャンマー・ ヤンゴン市 に関する取組



(3) オーストラリア・ クイーンズランド州 に関する取組



会員と川崎市が、JCM事業へ参画
(2017.8)



会員が、分散型下水道・中水道等導入可能性調査を受注、川崎市がアドバイザーとして参画(2014.1)



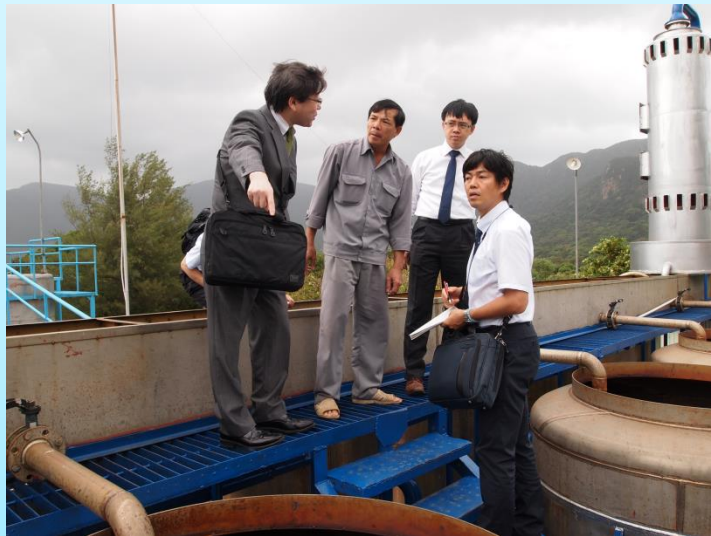
官民連携による国際展開

◆かわさき水ビジネスネットワークの具体的な活動例

(4) ベトナム・バリアブンタウ省に関する取組



会員の提案が厚生労働省に採択され、会員と川崎市がコン・ダオ県の水環境改善に向けた調査を実施(2014.10-2015.3)



会員の提案が国土交通省に採択され、会員と川崎市がコン・ダオ県の下水道環境改善に向けた調査を実施(2015.10-2016.3)



官民連携による国際展開

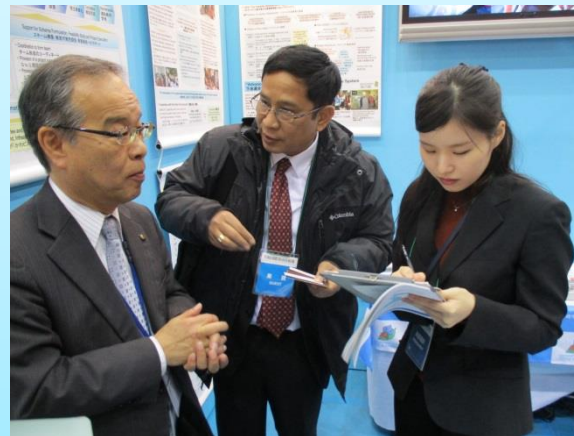
◆かわさき水ビジネスネットワークの具体的な活動例

(5) その他 情報発信・PR等の取組

長沢浄水場内広報施設「水とかがやく未来館」かわBizネットコーナー(2017.6～)



国際展示会への出展（写真は川崎国際環境技術展2017）(2017.2)



紹介パンフレット等のPR媒体制作



◆技術協力による国際貢献

川崎市では、JICA等からの要請に応じて、上下水道分野での職員の海外派遣や海外からの研修生受入などの技術協力を実施し、上下水道を通じた健全な水循環を構築することで、開発途上国等の社会・経済発展に貢献しています。

▶インドネシア・マカッサル市における地下漏水対策 実行能力向上プロジェクト（JICA:2017- ）



川崎市は、JICAの根技術協力事業（地域活性化特別枠）に採択され、急速な経済発展を続けるインドネシア・マカッサル市において、大きな課題となっている高い無収水率の削減に向け、地下漏水対策のための支援を実施します。

実施期間：2017年度～2021年度（3年間）

実施体制：（日本側）川崎市上下水道局、かわさき水ビジネスネットワーク会員
（インドネシア側）マカッサル市水道公社

主な活動：本市職員等の派遣及び研修生受入により、以下の活動に取り組みます。

- ①パイロットエリアにおける地下漏水調査計画の作成支援、地下漏水調査及び漏水修理工事の実行支援
- ②マカッサル市水道公社職員の地下漏水発見能力の向上支援
- ③マカッサル市水道公社職員の漏水修理技術の向上支援
- ④本事業の活動成果及び漏水防止に関する技術の共有・普及支援



マカッサル市での調査

◆技術協力による国際貢献

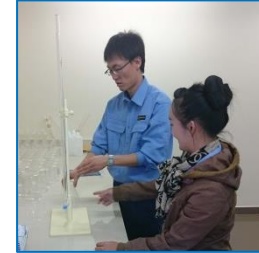
▶ラオス国水道公社事業管理能力向上プロジェクト (JICA:2012-2017)



ラオス国において持続可能な水道事業運営を目指すため、さいたま市、埼玉県、横浜市と共に職員を派遣し、配給水管施設計画の分野等で技術支援を行うとともに、川崎市にも研修生受入を行い、講義や視察を実施しました。



現場技術支援



水質試験



ラオス研修生受入

▶ベトナム・ホーチミン市下水道管理能力開発プロジェクト(JICA:2009-2010)



下水道の管理体制の向上を図るため、ホーチミン市への技術職員の派遣と川崎市への研修生の受入を行い、水処理技術や下水道管理について技術支援・研修等を行いました。水道の無収水削減による水資源の有効活用を図るため、サンパウロに技術職員を派遣し、漏水管理等について技術支援等を行いました。



ベトナムでの技術支援

▶ブラジル・サンパウロ無収水管理プロジェクト (JICA:2008-2010)



水道の無収水削減による水資源の有効活用を図るため、サンパウロに技術職員を派遣し、漏水管理等について技術支援等を行いました。



ブラジルでの国際セミナー

技術協力による国際貢献

◆世界各国・地域から研修生・視察者を受入

川崎市の立地を活かし、世界各国からの研修生や視察者を上下水道施設に受け入れ、研修等を実施

49か国・地域から822名が訪問(2011～2016年度)



下水道分野の海外展開拠点都市

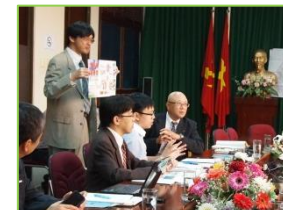
WES Hub
Water and Environment Solution Hub

水・環境ソリューションハブ(WES Hub)は、国土交通省の協力の下、日本の水・環境インフラに関する政策と技術を海外に積極的に提供していく都市による連合体です。

川崎市は、国土交通省からWES Hubのハブ都市として2013年3月に認定され、研修や視察の実施などで情報発信に取り組んでいます。



入江崎水処理センターでの現場研修



日本の汚泥処理技術の情報をベトナムで発信

A background image showing a series of concentric ripples on a light blue surface, likely water, with a central point where a drop has just fallen. The ripples are centered and spread outwards, creating a sense of movement and calm.

ご清聴ありがとうございました